

教科	国語	科目	国語表現	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	3
教材	教科書	国語表現 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	プライム常用国語(第一学習社)					

学習の目標	1 国語を的確に理解し適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めます。 2 表現活動を通して自分の考えを深め、目的に応じた適切な表現ができる言語感覚を磨きます。 3 言語に関する知識を学び、言語文化への関心を深めます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1部 表現力を培う 1 書いて伝える	○原稿用紙の使い方、文章表現のきまりについて理解します。	中間考査 期末考査
	5月	2 小論文・レポート入門	○主題文を作成し、意見を明確にした上で書き始められるようにします。	
	6月	3 自己PRと面接	○小論文の構成について理解し、論理的文章力を高めます。 ○面接の注意事項について正しく理解し、模擬面接を通じてその技能を身に付けます。	
2 学期	7月	4 メディアを駆使する	○ネットやメディアとどう関わり、利用するのか理解します。	中間考査 期末考査
	8月	5 声とコミュニケーション	○音声言語を用いた表現の楽しさと難しさについて理解し、その方法を学びます。	
	9月	6 会話・議論・発表	○効果的なコミュニケーション技能を身に付けます。	
	10月		○いろいろな議論の方法を学び、実際に行う際、表現に求められるものを理解します。 ○プレゼンテーションの実践を通じて、情報の受け手に対して意識すべき事やその方法について理解します。	
3 学期	11月	第2部 表現を楽しむ 1 言葉で遊ぶ 8 エッセイを書こう	○回文やしりとりなど、昔からあった言葉遊びを通じて、その面白さや言葉の可能性について感じます。	学年末考査
	12月		○日常を書く行為によって切り取り、保存する行為の楽しさを感じます。	
	1月			

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	/	言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、小テスト・課題やノートなどの提出物・授業態度などを考慮して総合的に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業には真剣に取り組み、与えられた課題に意欲をもって取り組みましょう。 2 提出物は期限を守って必ず提出しましょう。 3 進路実現のために、小論文や作文を書くことができるようにしましょう。
-----------	--

教科	国語	科目	現代文B	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	3
教材	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B			出版社名	第一学習社	
	副教材	常用漢字クリア (尚文出版)					

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を読み、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成します。 2 ものの見方や感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって人生を豊かにする態度を養います。 3 国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	第Ⅱ章 世界を見つめる	○随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ります。	中間 考查	
	5月		○筆者の体験を追体験することで、現代社会について考える糸口とします。		
	6月	新しい視点 小説を読む (一)	○論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉えます。 ○虚構性に注意して小説を読み、そこに描かれた世界を的確に捉えます。		期末 考查
	7月	詩を味わう	○詩を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養います。		
2 学期	8月	新しい視点	○筆者の主張を参考にしながら日常生活で起こる関連性について考えを深めます。	中間 考查	
	9月	生への模索	○文章全体をよく読み、その論理的な構造と論旨の展開について把握します。		
	10月		○文章全体の論理的な枠組みを理解します。		
	11月	小説を読む (二)	○小説を読む楽しみをかみしめ、より深い鑑賞力と読解力を身に付けます。		期末 考查
12月	小説を読む (三)	○主人公が、苦悩し、自分の過去を振り返り、その原因を求めていく過程を把握します。			
3 学期	1月	詩を味わう	○詩を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養います。	学年末 考查	
	2月				
	3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的・課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の予習と復習を必ず行いましょう。 2 指示を聞いて集中して授業に臨みましょう。 3 小テストや定期考查の準備を十分に行いましょう。
-----------	---

教科	国語	科目	古典B	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	2
教材	教科書	新編 古典B 言葉の世界へ			出版社名	教育出版	
	副教材	必携これからの古典文法〔改訂版〕(尚文出版)					

学習の目標	1 古典を読む力を高め、古典についての理解や関心を深めます。 2 古典を読んで、そこに表れた思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにします。 3 我が国の伝統的な文化の特質について理解を深めます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	古文編 II部 一 随筆と日記	○平安時代の生活に理解を深め、作者のものの見方や感じ方を理解します。	中間 考查
	5月	漢文編 II部 一 三国志の英雄たち	○登場人物の人物像や性格を読み取り、中国の史伝の面白さを味わいます。	
	6月	古文編 II部 二 物語(一)	○登場人物の人物像を読み取り、語り手の立場を正しく捉えます。	
2 学期	7月	古文編 II部 二 物語(一)	○登場人物の人物像を読み取り、語り手の立場を正しく捉えます。	期末 考查
	8月	古文編 II部 五 評論	○様々な評論を読み、古人のものの見方・感じ方・考え方を知り、我が国の伝統と文化について理解を深めます。	中間 考查
	9月			
	10月	漢文編 II部 三 刺客荊軻	○史伝作品の読解を通して、漢文に慣れ親しみ、古代中国の人のものの見方や考え方を読み取ります。	
11月	古文編 II部 四 物語(二)	○『源氏物語』の作品世界に触れて、古典に親しむ態度を養います。		
3 学期	12月	古文編 II部 四 物語(二)	○『源氏物語』の作品世界に触れて、古典に親しむ態度を養います。	期末 考查
	1月	古文編 II部 五 評論	○様々な評論を読み、古人のものの見方・感じ方・考え方を知り、我が国の伝統と文化について理解を深めます。	学年 末 考 査
	2月			
3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、小テスト・課題やノートなどの提出物・授業態度などを考慮して総合的に算出します。				
学習へのアドバイス	1 予習をしっかり行って授業に臨みましょう。 2 主体的・計画的に学習に取り組み、自らの考えを深めましょう。 3 小テストや定期考查の準備を十分に行いましょう。				

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	4
教材	教科書	新選日本史B			出版社名	東京書籍	
	副教材	新選日本史Bワークノート(東京書籍)					

学習の目標	1 我が国の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察します。 2 各時代の特色と変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めます。 3 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開	○強圧的な武断政治から学問を尊重する文治政治に転換したことを学びます。 ○農業・商工業などの産業と、交通の発達や金融制度の確立などを学びます。 ○享保の改革を経て田沼意次による改革が行われたことと、江戸を中心とする町人文化が形成されたことを学びます。 ○ペリーの来航から開国、江戸幕府の滅亡の過程を学ぶとともに、版籍奉還と廃藩置県など、明治政府が積極的に近代化を進めた改革について学びます。 ○自由民権運動について、運動の活発化と衰退、再燃の過程を学びます。	中間考查
	5月 3 近代社会の発達と町人文化		
	6月 4 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達		
	7月 第4章 近代国家の形成と国民文化の発展		
2学期	1 開国から明治維新へ	○大日本帝国憲法の制定、不平等条約の改正をめぐる交渉、思想界でのナショナリズムの台頭を学びます。 ○日清戦争と、その結果、帝国主義が広まり、中国分割が進められる中で日露戦争が起こったことを学びます。 ○朝鮮の植民地化の経緯を学びます。 ○第一次世界大戦の経緯と、大戦後の国際情勢、第二次護憲運動などの国内情勢について学びます。 ○満州事変と日中戦争の過程、日米開戦の経緯を学び、「大東亜共栄圏」に組み込まれた人々への戦時統制が強化されたことを学びます。 ○GHQの指令を受けて進められた民主化、非軍事化の内容について学びます。	中間考查
	2 立憲政治の形成と国民文化		
	8月		
	9月 3 日本の近代化と東アジア		
	10月 4 デモクラシーと第一次世界大戦		
3学期	11月 5 激動する世界と日本	○国際社会が大きく変容する中で、日本が実施している国際協力や、日本が抱えている周辺諸国との問題について考察するとともに、現代がどのような時代であるのかを理解して、自分の言葉で表現します。	学年末考查
	12月 第5章 現代の世界と日本		
	1 占領と国内改革		
	1月 2 国際社会への復帰と高度経済成長		
	3 石油ショックと低成長の時代		
	4 新しい国際秩序と日本の課題		
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧にしましょう。丁寧なノートは見やすく、頭に入りやすいです。 3 各単元ごとの確認テストで、日本史における基礎的・基本的語句を確認しましょう。
-----------	--

教科	公民	科目	政治・経済	学年	3年(普通科 教養、情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 新政治・経済			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新政治・経済資料集2023 (第一学習社)、ワークブック政治・経済 (愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めます。 2 現代における政治、経済、国際関係について客観的に理解します。 3 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育みます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画			
1 学期	4月	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法	○民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解します。 ○日本国憲法の成立過程を把握するとともに、基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を学びます。	中間 考查			
	5月						
	6月	第2章 現代の国際政治と日本	○国会、内閣、裁判所などの政治機構に触れながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解します。 ○国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解します。		期末 考查		
	7月						
2 学期	8月	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質	○冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界がどのように変化したのか理解します。 ○資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代政治の特質について理解します。 ○国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較します。	中間 考查			
	9月						
	10月				第2章 国民経済と国際経済	○国際経済に関する基本的な概念や理論を理解します。 ○為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解します。	期末 考查
	11月						
12月							
3 学期	1月	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	○現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、様々な角度から考え、客観的な立場に立って望ましい解決の在り方を考えます。	学年末 考查			
	2月						
	3月						

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を探究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断してその過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞やニュースなどで、時事問題に興味・関心をもちましょう。			

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	2
教材	教科書	改訂版 最新 数学Ⅱ			出版社名	数研出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 指数関数・対数関数、微分法と積分法についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 第5章 指数関数と対数関数 1. 指数法則	○指数法則を理解し、計算ができるようにします。	中間考査 期末考査
	5月 2. 指数関数とそのグラフ	○指数関数の特徴を理解し、グラフがかけられるようにします。	
	6月 3. 対数	○対数の性質を理解し、計算ができるようにします。	
	4. 対数の性質	○対数関数の特徴を理解し、グラフがかけられるようにします。	
	7月 5. 対数関数とそのグラフ		
	6. 常用対数	○常用対数の意味について理解し、その応用ができるようにします。	
2学期	8月 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法		中間考査 期末考査
	9月 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. 微分法の公式	○微分の考え方を理解し、導関数の計算ができるようにします。	
	4. 接線	○導関数を応用し、接線の方程式が求められるようにします。	
	10月 5. 関数の増減		
	6. 関数の極大・極小	○3次関数のグラフを用い、極値や最大値・最小値が求められるようにします。	
	7. 関数の最大・最小	○3次関数のグラフを利用し、3次方程式や3次不等式の解を求められるようにします。	
11月 8. 方程式・不等式への応用			
12月 第2節 積分法			
9. 不定積分	○積分の考え方を理解し、不定積分や定積分の計算ができるようにします。	期末考査	
10. 不定積分の計算			
11. 定積分			
3学期	1月 12. 定積分の性質	○定積分の考え方を応用し、グラフで囲まれた部分の面積が求められるようにします。	学年末考査
	2月 13. 面積		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の方法	指数関数・対数関数及び微分・積分の考えの考え方に興味をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、指数関数・対数関数及び微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	指数関数・対数関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	指数関数・対数関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。			

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	音楽Ⅲ 改訂版			出版社名	教育出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てます。 2 音楽文化を尊重する態度を育てます。 3 感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高めます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	音楽と関わる仕事	○ 「結—ゆい—」「ふるさと」を歌い、音楽や生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解します。	
	5月	ギターで弾き語りをしてみよう (器楽・歌唱)	○ 「翼をください」「なごり雪」などを弾き歌い、ギターの基礎的な奏法を身に付けます。	
	6月	〃		
	7月	言葉と音楽(鑑賞・歌唱)	○ 「Hey Jude」「美女と野獣」などを聴き歌い、言葉と音楽の関わりを考察します。	
2 学期	8月	音楽で描かれたイメージ・思い(鑑賞)	○ 夏季休業中の課題・レポートをもとに、音楽と場面の関わりについてプレゼンテーションを行います。	
	9月	アンサンブルの楽しみ(歌唱)(器楽)	○ アンサンブルの形態選びから始めて、様々な工夫をしながら、発表を行います。	
	10月	〃		
	11月	物語と音楽(鑑賞・歌唱)	○ ミュージカルや映画の中から、自分の好きな作品を選び、その特徴や背景についてプレゼンテーションをします。	
	12月	自分のイメージする音楽を作る(創作)	○ 「題材」「イメージ」を選び、音で表現します。	
3 学期	1月	ファイナルコンサートを開こう	○ 高校3年間の音楽のまとめとして、歌唱・器楽・鑑賞・創作の中から選び、グループや個人での発表を行います。	
	2月			
	3月			

評価の観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	音楽活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形作っている要素を知覚した上で、どのような音楽表現をするか思いや意図をもっている。	音楽表現の創意工夫をするために必要な技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形作っている要素を知覚、感受しながら解釈や価値を考え、その良さを創造的に味わっている。

評価の方法	実技評価、鑑賞力評価に加え、それぞれの観点を考慮し評価します。
-------	---------------------------------

学習へのアドバイス	1 豊かな感性を磨き、表現の工夫をしましょう。 2 人と協力し、工夫しながらより良い音楽を追求しましょう。 3 様々な音楽文化の良さを感じ、創造的に味わいましょう。
-----------	--

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	高校生の美術3			出版社名	日本文教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てます。 2 美術文化を尊重する態度を育てます。 3 感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力をより一層高めます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	オリエンテーション デザイン・映像メディア表現・鑑賞 ・情報の視覚化	美術Ⅲについて ○ブレインストーミングを通して、身の回りのデザインを鑑賞します。 ○表示伝達する内容や目的と見やすさ美しさの調和を考えて主題を構成します。 ○情報を整理し伝えたい内容を視覚化して見やすく分かりやすく表現します。 ○デザインによる環境改善のためのプレゼンテーションポスターを制作します。 ○視覚的効果を考えてポスターを作成します。	
	5月			
	6月			
	7月			
2 学期	8月	絵画・彫刻・映像メディア表現・鑑賞 ・画家が追い求めたもの ・彫刻と着彩	自画像制作 卒業制作として ○様々な表現技法を理解し、自己表現に適した技法を選択します。 ○西洋・東洋、平面・立体、映像メディア表現作品を鑑賞し、作者の表現と技法を理解し、作品制作に活用します。 ○自己を見つめ選択した表現技法による自分像を制作します。	
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
3 学期	1月	まとめ	○作品展示による鑑賞会を企画し、対話型鑑賞会を行います。	
	2月			
	3月			

評価の観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

評価の方法	定期考査は行いません。完成作品、授業への主体的な取組、課題意図の理解、出席状況を観点別に評価します。自己実現のための主体的な取組を評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 授業中の時間を大切にし、目標をもって作品の制作や鑑賞に取り組ましましょう。 2 日頃の生活の中でも、感性を働かせ、自分の思考を刺激し制作テーマを蓄えておきましょう。 3 美術教室や制作道具を大切にし、マナーを守って制作しましょう。
-----------	---

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	書道Ⅲ			出版社名	教育出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てます。
	2	書の伝統と文化を尊重する態度を育てます。
	3	感性を磨き、個性豊かな書の表現と鑑賞の能力をより一層高めます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	零 書的美を求めて 1 書と文化との関わり 2 書論について	○書的美の要素を理解し、そのよさや美しさを深く味わう心を養います。	
	5月	一 漢字の書の学習 1 篆書・隸書の学習 (1) 泰山刻石の鑑賞と臨書	○代表的な楷書の古典を鑑賞し、特徴を理解します。 ○書体の混在による変化を取り入れて表現します。	
	6月	(2) 篆書から隸書へ (3) 漢代木簡の鑑賞と臨書 (4) 張遷碑の鑑賞と臨書	○古拙にして素朴な書風を理解し、用筆法・運筆法を習得します。	
	7月	2 草書・行書の学習 (1) 行書の成立 (2) 書聖王羲之の誕生	○行書の初期の歴史的な位置付けについて理解します。 ○王羲之の書を分析的かつ総合的に鑑賞	
2 学期	8月	(3) 宋代の書の鑑賞と臨書 (4) 日本の名筆の鑑賞と臨書	し、美の要素を理解します。 ○三筆の書について理解します。	
	9月	3 楷書の学習 (1) 元頭偽墓誌銘の鑑賞と臨書 (2) 張即之の書の鑑賞と臨書 (3) 鄭道昭の書の鑑賞と臨書	○北魏の力強い方勢の書の運筆・用筆法を習得します。 ○変化の妙を尽くした書の運筆・用筆法を習得します。	
	10月	(4) 小楷の書の鑑賞と臨書	○小楷の書的美を味わいます。	
	11月	二 仮名の書の学習 1 古筆における表現の多様性 2 古筆の鑑賞と臨書 (1) 高野切第二種 (2) 関戸本古今集	○古筆の内容に関心をもち、文学との関係について理解します。 ○表現の多様性について理解し、今後の表現活動に役立てます。	
	12月	三 漢字仮名交じりの書の学習 1 書と諸文化との関わり	○日本の書について、歴史的な流れを理解します。	
3 学期	1月	2 現代の新しい表現 3 自分自身の表現を目指して	○現代の漢字仮名交じりの書の表現方法について考えます。	
	2月	四 表現の広がり	○作品の創作に当たり、意欲的に取り組み、創造的に表現します。	
	3月			

評価の観点	書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の関心・意欲・態度と能力
	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を受け、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

評価の方法	提出作品について、臨書においては対象となる古典の特徴を表現できたか、創作においては意図した表現に近づくことができたか、学習活動への参加態度を含め、観点別に評価し、学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 自らの感性に基づき、対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。 2 自分は何を表現したいのか考え、詩文を積極的に選びましょう。 3 道具の取り扱いについて、一人一人がマナーを守り、気持ちよく使用しましょう。
-----------	--

令和5年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	4
教材	教科書	All Aboard! English Communication III		出版社名	東京書籍		
	副教材	コーパス3000 (東京書籍)					

学習の目標	1 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 物語や説明文などを読んで、情報や書き手の意図を理解したり、要点を把握する力を伸ばします。 3 日常的な話題について、自分自身の考えなどを整理して英語で発表する姿勢を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 Lesson 1 Mystery Circles under the Sea	○アマミホシゾラフグの生態について学びます。	中間考査 期末考査
	5月 Lesson 2 Gifts to Barcelona	○ガウディのデザインによるユニークな建築物の特徴について学びます。	
	6月 Lesson 3 Images on Coins	○硬貨・紙幣のデザインを通してその国や地域を象徴するものについて学びます。	
	7月 Lesson 4 Witnesses of War	○広島で戦争中に路面電車の運転士となった女子生徒、幸子さんの経験について学び、路面電車が広島の復興に果たした役割について考えます。	
2学期	8月 Lesson 5 Love Letters	○手書きの手紙を送るハナさんの取組について学びます。	中間考査 期末考査
	9月 Lesson 6 The Natural Treasures of Ogasawara	○世界自然遺産に登録された小笠原諸島の現状と直面する問題について学びます。	
	10月 Lesson 7 The Terracotta Warriors	○秦の始皇帝と彼が作らせた兵馬俑の謎について学びます。	
	11月 Lesson 8 The Journey of Our Clothes	○普段身につけている洋服がどこから来たのか考え、また、エシカル・ファッションについて学びます。	
12月 Lesson 9 Challenges for the Future	○エネルギー問題について日本と中米の国コスタリカを比較しながら学びます。	期末考査	
3学期	1月 Lesson 10 The Story of Ruby Bridges	○アメリカの公民権運動の象徴のひとつとなったルビー・ブリッジズさんについて学びます。	学年末考査
	2月		
	3月		

	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の観点	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 予習、復習を行い、積極的に声に出して音読しましょう。 2 板書事項は確実にノートに書きとめ、重要な所が分かるノート作りをしましょう。 3 表現に必要な基本的な語彙、語法、構文を身に付けましょう。			

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	3
教材	教科書	Revised BIG DIPPER English Expression Ⅱ		出版社名	数研出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理的に書く能力を養います。 3 日常的な話題について、自分自身の考えなどを整理して英語で発表する姿勢を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 PART 1 Lesson 17 Taking Notes Lesson 18 Dreaming of Space	○効果的なノートの作成をペアで考えて発表します。 ○仮定法の表現を使って表現します。 ○人造人間がいれば、どんなお願いをするのかを考えます。 ○スマートフォンの重要性について考えます。 ○生徒会について考え、積極的に参加するにはどうすればよいのか考えます。 ○環境問題について、グループで考え、発表します。	中間考査
	5月 Lesson 19 An Android Like You		
	6月 Lesson 20 I Left My Smartphone Lesson 21 Student Council Election		
	7月 Lesson 22 Think Green		
	8月 PART 2 Lesson 1 What's Your Favorite Dish?		
9月 Lesson 2 A Guitar Concert Lesson 3 Uniforms of Casual Clothes?			
10月 Lesson 4 Studying Abroad			
11月 Lesson 5 After School Lesson 6 A Korean Drama			
12月 Lesson 7 Going Bird Watching Lesson 8 Meeting the Deadline			
3学期	1月 Lesson 9 Why Do We Study English?	○原因・理由、目的の表現を使って英語の必要性を発表します。	学年末考査
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 予習、復習を行い、積極的に声に出して音読しましょう。 2 板書事項は確実にノートに書き留め、重要な所が分かるノート作りをしましょう。 3 表現に必要な基本的な語彙、語法、構文を身に付けましょう。			

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	子どもの発達と保育 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 子どもの発達の特長や発達過程を理解します。 2 保育などに関する知識と技術を習得します。 3 子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てます。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 1章 子どもの発達の特長 1節 発達と乳幼児の意義 2節 発達と保育環境	○人間の発達に関心をもち、乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であり、大人による養護が欠かせないことを確認します。 ○乳幼児の身体の発育過程と生理的特徴を理解します。 ○乳幼児の適切な関わり方を理解します。 ○技術検定合格に向けて実技の練習を行い検定を受検します。	期末考查
	5月 3節 児童観と発達観		
	6月 2章 子どもの発達の過程 1節 子どもの発育 2節 子どもの精神状態		
	7月 ○ 保育体験実習 ○ 保育技術検定4級・3級		
2学期	8月 3章 子どもの生活 1節 生活と養護 2節 子どもの遊び	○乳幼児の生活の特徴を学び、順調な成長を促す上で、発育・発達に応じた養護が必要なことを理解します。 ○保育の目標は、適切に養護しながら教育的に関わることであり、子ども自身の成長・発達を援助・養護することであると理解します。 ○保育所と幼稚園の違いを学び、集団保育の役割を理解します。	期末考查
	9月 3節 生活習慣の形成 4節 健康管理と事故防止		
	10月 4章 子どもの保育 1節 保育の意義と重要性 2節 家庭保育と集団保育		
	11月 ○ 保育体験実習 3節 保育の方法		
3学期	1月 5章 子どもの福祉 1節 子どもの福祉 2節 子育て支援	○児童福祉の理念や法律、制度について学び、単に保護するのみではなく、次代を担う児童の健全育成を目的としていることを理解します。	学年末考查
	2月		
	3月		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見だし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特長や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は授業や実習に取り組む姿勢、ノート、作品などを考慮して、総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 実習科目であるので、欠席をしないで意欲的に取り組みましょう。 2 授業中はしっかり聞き、理解し、考え、自分の意見を持ちましょう。 3 学んだこと、経験したことを将来の実生活に活かしていきましょう。			

教科	家庭	科目	フードデザイン	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	フードデザイン 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	調理実習ノート 専門編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)					

学習の目標	1	栄養、食品、献立、調理、衛生、テーブルコーディネート等に関する知識と技術を習得します。
	2	食の現状と課題を把握し、解決しようとする実践的な態度を身に付けます。
	3	食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身に付けます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月	1章 食生活と健康 1節 食事の意義と役割 2節 食をとりまく現状 食物調理技術検定4級実施	○食事の意義と役割について学びます。 ○食を取り巻く現状を認識し、食事の好ましい在り方について考えます。 ○練習を行い、検定を受検します。	期末考査
	5月	3章 食品の特徴・表示・安全 1節 食品の特徴と性質	○食品の特徴と性質について学びます。	
	6月	第1回 調理実習		
	7月	食物調理技術検定3級実施	○練習を行い、検定を受検します。	
2学期	8月	2節 食品の生産と流通 3節 食品の選択と表示 4節 食品の衛生と安全 第2回 調理実習	○食料資源と自給率の現状、食品の流通・加工の目的を学び、安全な食品選択ができるようにします。	期末考査
	9月	2章 栄養素のはたらきと食事計画 9節 食事摂取基準と食事計画 10節 ライフステージと栄養計画 第3回 調理実習	○ライフステージの栄養上の注意点を理解し、適切な食事計画を立てることができるようにします。	
	10月	5章 料理様式とテーブルコーディネート 1節 料理様式と献立	○料理様式ごとのテーブルコーディネートの基本を知り、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方などを身に付けます。	
	11月	2節 テーブルコーディネート 6章 フードデザイン実習 1節 献立作成	○献立作成の留意点を理解し、望ましい献立を作成し、調理することができるようにします。	
	12月	第4回 調理実習 第5回 調理実習		
3学期	1月	4章 調理の基本 7章 食育 1節 食育の意義と推進活動	○基本的な調理操作の方法や意味について理解し調理の基本を身に付けます。	学年末考査
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	食生活に関する諸問題に関心をもち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする意欲と態度を身に付けている。	食生活を総合的に捉えて計画・実践するために課題を見だし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を身に付けている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、ノート・提出物・調理実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 実習が多いため、欠席することなく授業に意欲的に取り組みましょう。 2 学んだことは繰り返し実践し、知識と技術の定着を図りましょう。 3 食物調理技術検定に真剣に取り組む、実践的な力を養いましょう。
-----------	--